令和４年度事業報告

（自令和４年４月１日～至令和５年３月 31 日）

１．　年間を通じて毎朝６時 30 分からの駒場スタジアムでのラジオ体操の実施

夏休み等に限らず、１年を通じて地域の子供たちが、リーダーと一緒になって前で体操をリード。

　ただ、令和２年２月になって日本中に蔓延してきた新型コロナウィルスの猛威は止まず、第６波、第７波そして年末にかけての第８波と繰り返すように、感染者が増加した年でもあった。

　そんな中での体操は、「密」を避けるために、マスク着用が日常化していたが、政府は令和５年３月からマスク着用は個人の判断に委ねると決定したので、会としてもこの決定に従うことにした。

２．　月刊機関紙「駒場だより」の発行

NO.391(令和４年４月１日号)～NO.402(令和５年３月１日号)　　計 12 回発行

会からのお知らせのほかに、維持会員のリレー投稿や長寿応援制度の説明など、会員に役立つ情報を掲載した会報を発行してきた。

　特に令和５年１月１日号は創刊以来記念すべき通巻 400 号となったので、特別にカラー印刷で発行した。

３．　第 28 回維持会員総会の開催

新型コロナウィルス感染防止対策の一環として３密を避けるため、昨年度と同様に議案を公式ホームページ上に掲載するオンライン形式の維持会員総会として開催し（4 月 10 日～4 月 30 日）、令和３年度の事業報告・収支決算、および令和４年度の事業計画・収支予算、役員などを原案通り承認した。

４．　維持会員名簿の作成

令和４年度の維持会員名簿(5 月 31 日現在　367 名)を整備して６月６日に配布。

維持会員は本年度末の３月 31 日現在では 394 名で、会発足以来最多記録に並んだ。

５．　「長寿応援制度」を継続

平成 25 年７月１日からスタートさせた長寿応援制度だが、維持会員の増加と相まって本制度の加入者も、令和５年３月 31 日現在では 382 名にまで達し、過去最多人数を記録した。この数字は、維持会員の 97%が加入していることとなった。

６．夏休みにおけるちびっ子リーダーに対する支援

NHK 恒例の「夏の巡回ラジオ体操」は３年ぶりに開催となったが、駒場には「ちびっ子リーダー」が毎日集まって来た。そのちびっ子リーダーたちには７月 20 日から出席カードの配布・押印などを続け、また８月 21 日(日)には体操会で用意した記念品(花火とシャボン玉セット各 30 個)を配布した。

７．公式ホームページによる情報発信

平成 26 年 9 月に正式に開設した会の公式ホームページでは、会報「駒場だより」に掲載しきれない情報などを、随時更新して広く会の情報発信に努めてきた。

８．ちびっ子元気シール事業

令和３年度から開始した事業であるが、毎朝集まってくるちびっ子リーダー達にも、「「出席簿」と手帳を用意し、参加した日の欄に元気シールを貼って、シール集めの楽しみを味わってもらうと同時に、継続して参加してもらうことを目的とした。毎月初めに、前月分のシールを貼った手帳をちびっ子に渡し、両親や祖父母にも見てもらうようにした。

なお、今年度を通じて参加してくれた８人のちびっ子リーダーを４月２日に表彰した。

９．トルコ大地震に対する義援金募金活動

2 月 6 日にトルコ南部で発生した M7.8 の大地震で、隣国シリアと合わせて死者は 5 万人を超え、被災者は 2,800 万人とも言われた。この惨状を踏まえて、海外での災害とはいえ他人事とは思えず、会として 2 月 20 日から3月5日まで義援金募金の活動を行った。

その結果、合計で 166, 306 円が集まり、3月7日に日本赤十字社埼玉県支部を通じて、被災地に贈った。

１０．新型コロナウィルス感染防止対策の一環として、3 年連続で中止した事業

①毎年夏に行ってきた「ゴミ拾い隊」活動

②毎年秋に行ってきた「秋の懇親の集い」

１１．その他

①7 月 31 日には、体操に集まった全員に、冷たいジュースを配った。

②6 月 26 日に、体操帰りの人達の交通ルール無視に、非常に危険を感じるとの苦情を受け、指摘を受けた場所でスタッフが声掛けを行ったのを始め、7 月 1 日に注意喚起のチラシを配布した

１２．役員会を開催して、重要事項を審議・決定

① 第 91 回役員会　　令和 4 年 4 月 2 日(原山公民館)
第 28 回維持会員総会への提出議案の審議

② 第 92 回役員会　　令和 4 年 8 月 2 日（原山公民館）
ゴミ拾い隊活動、夏季記念品、秋の懇親の集いなど

③ 第 93 回役員会　　令和 5 年 2 月 1 日（原山公民館）
第 29 回維持会員総会の開催方法など

以上